

ワークに掲載している「見本」や、このページの「答案例」を参考に
する時は、そのまま写さず、自分の体験や自分の考えを書くようにしよう。



自己推薦書 学部別答案例 (600字程度)

● 体育系

私は以下の2点から、自分を貴学へ推薦する。

1つは順応性の高さ、そしてもう1つは、スポーツに強い関心を持ち続けてきたことだ。

まず1つ目については、中学校で陸上部、高校でバスケットボールと全く異なる部活動に所属したが、さほど時間をかけずになじむことができた。特に高校では、それまであまり経験のなかったチームスポーツだったが、周りのメンバーの動きをよく見て、どこに走り、ボールを回せばよいのかを素早く考え、チームの一員として認められた。

そして2つ目については、幼少期から父にテニスを教わったり、兄と一緒に水泳教室に通ったりと、いろいろなスポーツに親しんできたことが土台になっている。どのスポーツにも違った面白さがあり、身に付く力も異なったが、何より体を動かす爽快感や、仲間と一緒に頑張る、目標としていたことを達成できた時の喜びは大きかった。

私は今後、今まで身に付けてきた順応性とスポーツの経験を活かして、貴学でスポーツが人の体や精神に及ぼす影響を学び、知識を身に付けたい。また、その知識を役立てられるイベントなどにも積極的に参加していきたい。さらに、将来は身に付けた知識や技術をもとに、子どもから高齢者までスポーツの楽しさや大切さを普及する仕事に携わりたい。

以上の2点において、私は自分を貴学に推薦する。

● 福祉系

私は以下の2点から、自分を貴学へ推薦します。

1つは、他人のために誠心誠意尽くすことができること、そしてもう1つは、家族の介護を体験したことによって、現実の問題をよく知っていることです。

1つ目の点は、中学時代にJRC部に所属し、様々なボランティア活動に参加することによって養われました。私のその資質は高校でも発揮され、クラス合宿やスポーツ祭の時は、自ら進んで清掃係を引き受け、イベントのスムーズな運営に貢献してきました。

2つ目の点は、祖母の介護を母と2人で行ってきたことで身に付きました。一昨年に亡くなった祖母は、脳梗塞で倒れてから約7年間寝たきりの生活でした。私は母を手伝い、食事や排泄の世話など、きれいごとでは済まされない介護の現実を体験しました。そして、安らかにこの世を去った祖母の顔を見た時に、自然と福祉の方面に進もうと決心していました。

私のこの資質と経験は、今後の学習や仕事を進めるうえで、十分活かせると思います。私の将来の夢は、ケアマネージャーとなり、お年寄りに幸せな老後を過ごしてもらうことです。入学後は、自分の経験を踏まえて福祉問題についての研究をし、また引き続きボランティア活動にも参加して、自分の資質を活かして人の役に立ちたいと思っています。

以上の2点において、私は自分を貴学に推薦します。